

平成 30 年度 第 54 回秋田県病院薬剤師会総会議事録

日時：平成 30 年 6 月 2 日（土）15 時 00 分より 16 時 10 分

場所：秋田温泉さとみ（本館 1 階 コンベンションホール「泰山」）

秋田大学医学部附属病院 佐々木 克也先生 総合司会の挨拶

開会の宣言	秋田県病院薬剤師会副会長	三浦 昌朋先生
会長挨拶	秋田県病院薬剤師会会長	南雲 徳昭先生
来賓祝辞	秋田県薬剤師会会長	大越 英雄先生
祝電披露	秋田大学医学部附属病院	鑑屋 舞子先生

日本病院薬剤師会会長 木平 健治様より
一般社団法人 秋田県薬剤師会会長 大越 英雄様より
株式会社 薬事新報社代表取締役社長 上山 誉晃様より
有限会社 ひまわり代表取締役 山田 亮逸様より

議長選出 執行部より秋田大学医学部附属病院 加藤 正太郎先生を選出
議長挨拶 本会成立の宣言(会員合計 358名:出席者 127名 委任状 198名)
議事録署名人選出 議長より
秋田赤十字病院 黒澤 美喜先生、市立秋田総合病院 今野 正樹先生を選出



議事

<報告事項>

(1) 第 56 回日本病院薬剤師会臨時総会報告

平成 30 年 2 月 24 日（土）12 時 30 分より 17 時 00 分

（長井記念館地下ホールにて開催 南雲 徳昭会長が出席）

秋田県病院薬剤師会会長 南雲 徳昭先生

議題

- 一. 協議事項〔平成 30 年度事業計画(案)・予算(案) 他〕
- 二. 報告事項〔平成 30 年度診療報酬改定への対応 他〕
- 三. 質問事項〔ブロック代表質問等〕
- 四. 平成 30 年度・31 年度役員候補選挙

【主な報告事項】

1. 平成 29 年度病院部門の現状調査結果について
2. 薬学実務実習への取り組み
3. 外来患者への薬剤師業務の進め方と具体的な実践事例
4. 平成 29 年度厚生労働科学研究「病院における薬剤師の働き方の実態を踏

まえた生産性の向上と薬剤師業務のあり方に関する研究」について

(2) 平成 29 年度庶務報告ならびに生涯研修報告

○庶務報告 総務委員長 後藤 康晴先生

- ・平成 29 年度会務報告について
- ・寄贈会報誌の紹介
- ・薬剤管理指導料承認・届出施設 39 施設、無菌製剤処理料承認・届出施設 22 施設、病棟薬剤業務実施加算届出施設 13 施設 (H30.3 月現在)
- ・平成 30 年度の主な行事について

○生涯研修報告 生涯研修委員長 柳田真樹子先生

- ・平成 29 年度度の日病薬病院薬学認定薬剤師制度の秋田県病院薬剤師会認定研修会の開催件数は、58 件
- ・平成 29 年度 認定申請書は 5 月 1 日現在 97 名
- ・生涯研修履修認定証 (5 年連続認定者) については、平成 28 年度分認定を最後に終了となっている

(3) 平成 29 年度決算報告ならびに会計監査報告

○決算報告 会計委員長 佐々木 修先生

- ・予算額(収入)11,844,927 円に対して決算額(支出)9,527,222 円

収入の部では、

- ・会費は特別会員 A15 名を含む 94 名特別会員 B8 名で 980,000 円
- ・総会会費は 1,005,000 円
- ・三者協議会の参加費が懇親会参加者 1 万円 (171 名)、8 千円 (1 名)、協議会のみ参加者 2 千円 (6 名) となり 1,730,000 円
- ・生涯研修事務費は 164 講座、前年度地薬生涯教育講座 1 講座であったため 3 月 31 日現在で 1,647,000 円

→会員の微増と生涯研修事務費増加によって予算案より増収となった

支出の部では、

- ・日病薬負担金が 370 名分で、2,960,000 円
- ・総会費 1,881,547 円、役員会費 409,500 円と役員会費のうち交通費の見直しにより予算額より減少した
- ・三者協議会は幹事会を含めて、1,290,136 円
- ・会報・名簿費は今年度県病薬会報代が持ち越しとなり、1,269,000 円
- ・特別事業積立金 150,000 円を特別会計に積立した

→各経費の抑制と特別行事等の開催がなく、支出が予算案に比べ抑えられた
秋田県病院薬剤師会財産目録の紹介

- ・特別会計積立金 (北都銀行普通預金) 1,607,790 円
- ・特別事業積立金 450,000 円 他

○会計監査報告 監事 水沢 重則先生

現金出納台帳、領収書綴り、普通預金通帳、現金等について突合せを行ったところ、いずれも適正に処理されていたとの報告があった

*議長より決算報告ならびに会計監査報告について拍手にて承認を求められ、賛成多

数とみなし平成 29 年度決算報告ならびに会計監査報告は承認された

(4) その他

- 薬剤業務委員会報告 薬剤業務委員長 平泉 達哉先生
平成 29 年度秋田県病院薬剤師会 プレアポイド報告集計結果
- ・平成 29 年度に薬剤業務委員会へ報告されたプレアポイド件数は 489 件
 - ・平成 28 年度は 558 件であり、今年度の報告件数は前年に比べると減っているものの 500 件近い報告件数となっている(平成 27 年以降は増加し年 500 件程度の報告件数を維持している)
 - ・優良事例報告も全国 6 位の件数に位置している
- 平成 30 年度病院実習調査結果の報告 会長 南雲 徳昭先生
- ・平成 29 年度は 37 名受入れ、平成 30 年度はマッチングの結果 23 名を予定
 - ・平成 30 年度の調査では第 1 期 9 名、第 2 期 13 名、第 3 期 1 名となっていて、ふるさと実習の件数は減っている
 - ・各施設に改訂コアカリキュラムの 8 疾患に対する対応についてアンケート調査を実施する予定
- 日本病院薬剤師会東北ブロック第 8 回学術大会(盛岡)について
- ・ポスター発表 94 件、シンポジウム 13 件、特別 2 件が開催され、参加人数 600 名と盛会であった
 - ・次回、日本病院薬剤師会東北ブロック第 9 回学術大会は平成 31 年 6 月 1 日(土)、2 日(日)に秋田キャッスルホテル、にぎわい交流館、秋田県立美術館を主会場に秋田市で開催予定である。医薬品相互作用研究会シンポジウムと合同開催、共催は秋田県薬剤師会を予定している。

<協議事項>

(1) 平成 30 年度事業計画(案)ならびに平成 30 年度予算(案)

- 平成 30 年度事業計画(案) 会長 南雲 徳昭先生
1. 医療の質の向上への貢献
 2. 医療安全対策の推進
 3. 医療連携の推進
 4. 病院・診療所および介護保険施設などの薬剤師業務の実践
 5. 生涯教育・研修・学術活動の推進
 6. 認定薬剤師・専門薬剤師の認定事業の実施
 7. 薬剤師養成のための薬学教育への協力
 8. 組織体制および運営の強化
- 平成 30 年度予算(案) 会計委員長 佐々木 修先生
- ・予算額(収入)12,789,105 円と昨年度実績に基づき設定した収入の部では、
 - ・特別会費は総会参加 85 名を見込み 1,005,000 円、三者協議会 1,650,000 円で計 2,655,000 円
 - ・生涯研修事務費は昨年度の実績から 130 講座を見込み 1,300,000 円
 - ・雑収入は賛助会員減少予測にて減収が考えられ 750,000 円
- 支出の部では、

- ・東北ブロック学術大会負担金が 250,000 円
- ・委員会費は委員会の開催と実績を鑑みて 500,000 円
- ・特別事業積立金は平成 31 年度開催の日本病院薬剤師会東北ブロック大会が秋田開催のため 850,000 円とした

*議長より平成 30 年度事業計画（案）ならびに予算(案)について拍手にて承認を求められ、賛成多数とみなし平成 30 年度事業計画（案）および予算（案）は承認された

(2) 次期会長並びに監事の選出について

- ・会長並びに監事について立候補者は無く、執行部から推薦となった南雲徳昭現会長が会長に、現監事の水沢重則先生、福岡英喜先生が監事に推挙された

*議長より拍手にて承認を求められ、賛成多数とみなし、執行部の推薦通り南雲会長、水沢監事、福岡監事が選出された

- ・南雲徳昭次期会長 挨拶

(3) その他

- ・中小病院委員会と療養病床委員会の統合について中小病院委員会の役員佐藤博樹先生より、療養病床委員会届出施設 15 施設中 13 施設が中小病院委員会に属している事、診療報酬上の業務内容に相違がない事や全国的にも中小病院委員会に統合されている傾向にあることが説明された。このため現状を踏まえ、中小病院委員会と療養病床委員会を統合し、中小療養連携委員会とする案が提起された。

*議長より拍手にて承認を求められ、賛成多数とみなし、中小療養連携委員会に統合が承認された

<次期開催地担当者挨拶>

県南地区担当 平泉 達哉先生

- ・平成 31 年 5 月 18 日（土）に 1 日開催スケジュールで、第 55 回秋田県病院薬剤師会総会を由利本荘地域での開催を予定している

閉会の宣言 総司会 佐々木 克也先生が閉じる

以上

平成 30 年 6 月 5 日

議事録作成者 加賀谷 英彰（秋田大学医学部附属病院）



